

岡安証券 ～注目・外株銘柄～ (2020年10月)

【米国市場・20銘柄掲載】

(株価データ、株価指標は現地2020年9月25日現在)

<9月から追加>

P1 【テレワーク】 ズーム・ビデオ・コミュニケーションズ(ZM)

P2 【巣籠もり】 ショッピングファイ(SHOP)

P3 【電子署名】 ドキュサイン(DOCU)

<継続>

P4 【ハイテク主力】 アップル(AAPL)

P5 【ハイテク主力】 フェイスブック(FB)

P6 【ハイテク主力】 アルファベット(GOOG)

P7 【ハイテク主力】 ネットフリックス(NFLX)

P8 【クラウド】 アマゾン・ドット・コム(AMZN)

P9 【クラウド】 マイクロソフト(MSFT)

P10 【クラウド】 サービスナウ(NOW)

P11 【オンライン診療】 テラドック・ヘルス(TDOC)

P12 【半導体製造装置】 ASMLホールディング(ASML)

P13 【半導体】 台湾セミコンダクターADR(TSM)

P14 【半導体】 アドバンスド・マイクロ・デバイス(AMD)

P15 【半導体】 エヌビディア(NVDA)

P16 【フィンテック】 ビザ(V)

P17 【フィンテック】 ペイパル・ホールディングス(PYPL)

P18 【フィンテック】 スクエア(SQ)

P19 【金融】 S&Pグローバル(SPGI)

P20 【公益】 ネクステラ・エナジー(NEE)

<追加>

ビデオ会議システムを提供する急成長企業

ネットショップの開設を支援するサービスを展開

電子署名ビジネス最大手

<継続>

デジタルIT機器の設計・販売大手

世界最大のSNS運営会社

インターネット検索世界最大手

動画配信サービス最大手

インターネット小売世界最大手

ソフトウェア世界最大手

内勤業務の効率化支援のソフトウェア企業

オンライン診療サービス企業

世界の半導体製造装置の大手

世界最大の半導体製造受託企業

MPUやGPUを手掛ける半導体大手

画像処理半導体(GPU)開発企業

クレジットカード決済サービス世界最大手

ネット決済サービス大手

決済サービスなどを手掛けるフィンテックベンチャー

金融情報サービス大手

環境配慮型の発電に特化する電力会社

岡安証券

社名 (ティッカー)

ズーム・ビデオ・コミュニケーションズ(ZM)

ビデオ会議を世界中に提供。コロナ禍で大躍進

上場市場
ナスダック

セクター
ソフトウェア

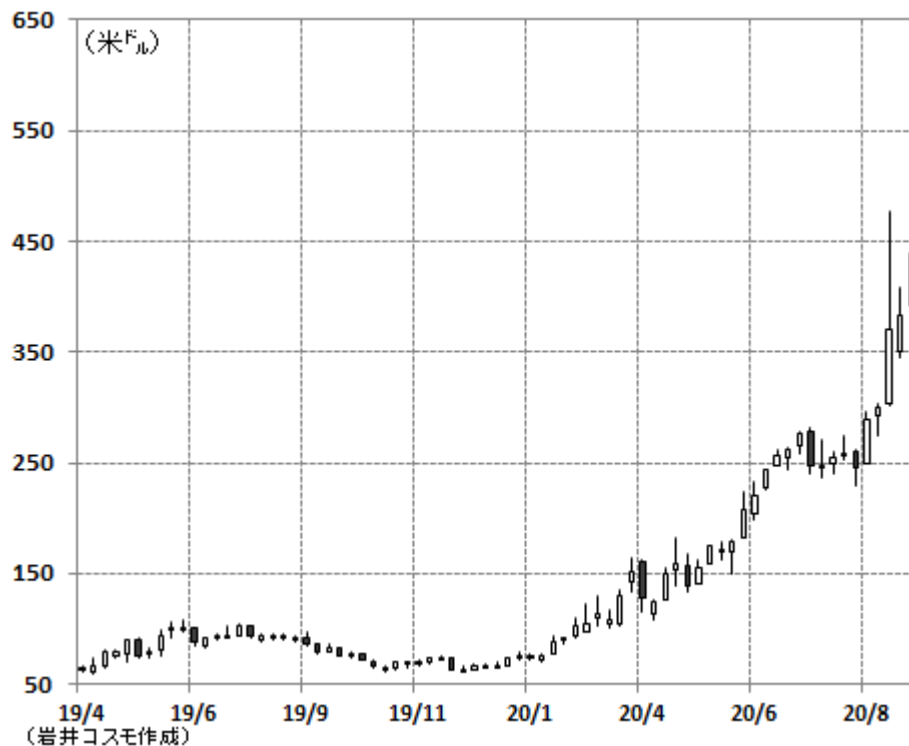
会社概要

「ズーム(ZOOM)」の製品名でビデオ会議システムのソフトウェアを開発・販売。シスコシステムズ出身のエリック・ヤンCEOが2011年に設立。特長として①ビデオ、音声が高品質で接続が安定、②100～200名の参加の会議でも可能、③有料版が安価の価格設定であること、などがある。本社はカリフォルニア州サンゼ、従業員数は2,532人(20年1月末)。19年4月にナスダック上場、20年4月にナスダック100指数に採用。

注目ポイント

□**コロナ禍で同社のオンライン会議システムが社会現象に**：「大人数の研修会や勉強会」から「ユ-ザ-サポート」、「クライアントとのミーティング」まで用途が幅広い。コロナ禍においては働き方の多様化にも対応でき、在宅勤務で活用するケースが急増。準備・操作が簡単で、「学校のオンライン授業」や「オンライン飲み会」まで使用されるケースも目立ってきた。

□**5-7月期は成長がさらに加速**：5-7月期の売上高は前年同期比4.6倍の6.64億ドル(市場予想5.00億ドル)、一部項目を除く調整後営業利益は同13倍の2.77億ドルだった。増収率は2-4月期の同2.7倍を大幅に上回り、成長が加速。従業員10名以上の顧客数はおおよそ37万社と前年同期から5.6倍と急増した。



株価チャート (上場来・週足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株 価(米ドル)	496.5 (09/25)	実績PER	617 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	529.73 (20/09/23)	株価売上高比率	103.3 (倍)	2019/01	331	118	6	黒転	8	黒転	0.00	0.00
52週安値(日付)	61.03 (19/10/22)	PBR	117.8 (倍)	2020/01	623	88	13	2倍	25	3倍	0.09	0.00
時 価 総 額	1,412億ドル 14兆9,095億円	税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	227.3 (過去6ヶ月間) 552.9 (過去1年間)	配当成長率(%)	— (過去1年間)	2020/Q2	146	—	2	—	6	—	0.02	0.00
		株主資本利益率(ROE)	23.7 (%)	2021/Q2	664	355	188	83倍	186	34倍	0.63	0.00
		株式ベータ	— (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

シヨップファイ(SHOP)

上場市場

ニューヨーク

セクター

インターネットサービス

ネットショップの開設を支援するビジネスを展開。「アマゾンキラー」との異名も

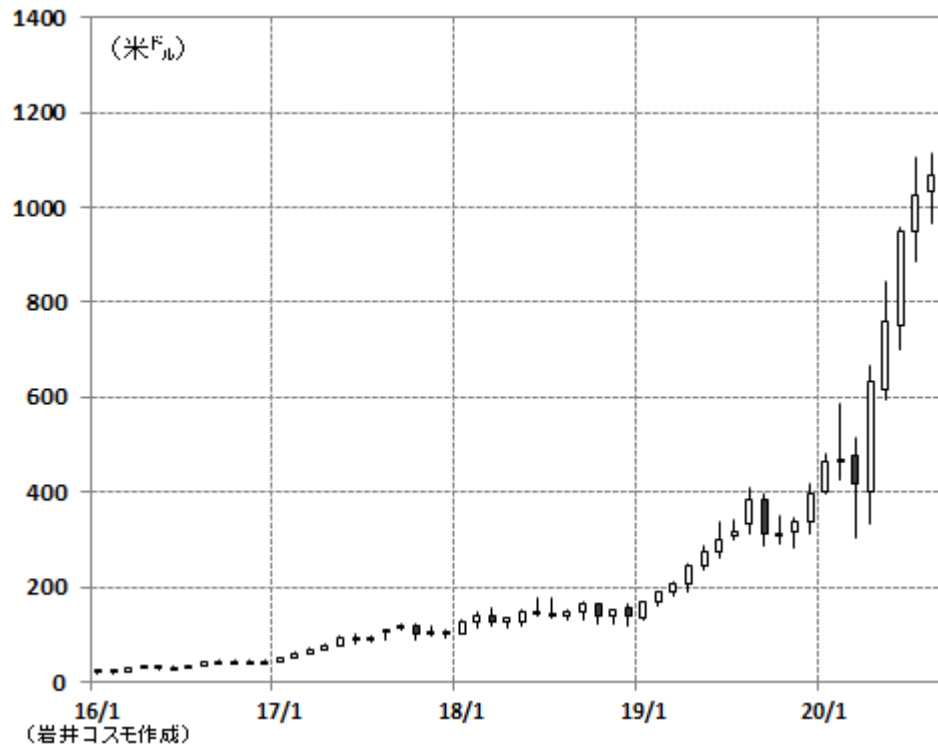
会社概要

中小の小売事業者向けにEコマスのプラットフォームを提供する。2004年に創業し、カナダのオタワに本社を構える。ITの技術者がいなくてもコストを抑えてネット通販サイトを簡単に運営できる点が特徴。ユーザー-企業数は世界175か国以上に100万社超を抱える。米P&Gや豪飲料大手のレッドブルなどのグローバル企業も同社の顧客。従業員数は約5,000人(19年末)。ニューヨークとトロント市場に重複上場。

注目ポイント

□ **簡単にネット通販できる仕組みを提供**: 大手のECモールと異なり、ECサイトの作成から顧客管理、決済、配送支援などの機能を格安な月額料金で提供する。専用アプリを自由に組み合わせ、カスタマイズも簡単にできる。

□ **ウォルマートやフェイスブックと提携**: コロナ禍で実店舗販売からオンライン販売への移行が加速し、同社サービス需要は急拡大し、4-6月期の総流通総額は前年同期比2.2倍の301億ドルを記録。出店者にとっての課題は集客力だが、米国ではウォルマートやフェイスブックとの提携関係を構築。中小企業の出店者以外にも大手企業の間でも採用が広がっており、ネット通販最大手アマゾンにとって脅威になりつつある。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	960.92 (09/25)
52週高値(日付)	1145 (20/09/01)
52週安値(日付)	282.16 (19/11/08)
時価総額	1,171億ドル 12兆3,593億円
株価変化率(%)	127.9 (過去6ヶ月間) 214.3 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)

実績PER	— (倍)
株価売上高比率	53.8 (倍)
PBR	24.9 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	-2.0 (%)
株式ベータ	1.24 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2018/12	1,073	59	-92	赤継	-65	赤継	-0.61	0.00
2019/12	1,578	47	-141	赤継	-125	赤継	-1.10	0.00

四半期業績

四半期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2019/Q2	362	—	-40	—	-29	—	-0.26	0.00
2020/Q2	714	97	0.3	黒転	36	黒転	0.29	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

ドキュサイン(DOCU)

上場市場

ナスダック

セクター

ソフトウェア

手書きの署名や押印が不要の電子署名ビジネス最大手

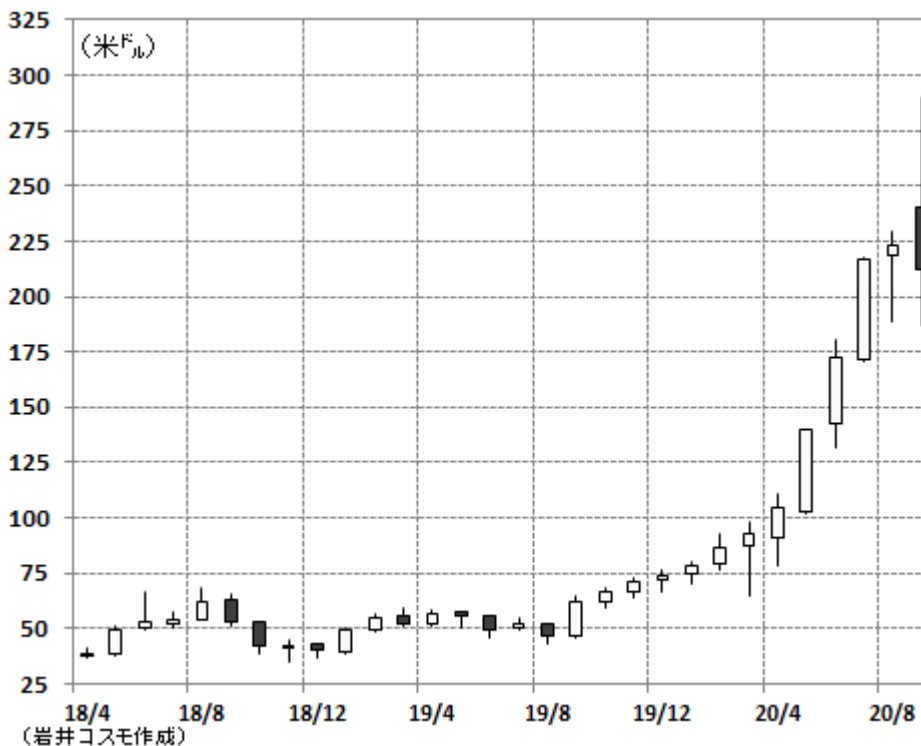
会社概要

電子署名ビジネス最大手。オフィスの完全ペーパーレス化に向けた電子署名や電子契約のクラウドサービスを提供。契約に関わるワークフローをデジタル化するサービス「DocuSign」を世界中で提供。欧米の金融機関や製薬企業をはじめ、世界約200カ国で合計66万社の顧客が同社サービスを利用。2003年創業、2018年4月にナスダック上場、本社はカリフォルニア州サンフランシスコ。ナスダック100指数構成銘柄。

注目ポイント

□**コロナ禍でペーパーレスの需要が急増**：従来の紙の書類ベースの合意・署名・捺印等の契約に関わる一連のプロセスを全てデジタル化し、無駄を省くサービスを提供。電子署名では、文書が本人によって作成され、文書が改ざんされていないことを電子的に証明する役割を果たす。コロナ禍で手書きの署名や対面が不要の同社のサービスへの関心が急速に高まっている。

□**導入による多くのメリット**：電子署名導入による多くのメリットがこれまで見過ごされてきたが、(1)ペーパーレス化に伴う印紙税、印刷代等のコスト削減、(2)業務負荷軽減と処理速度の大幅改善、(3)改ざん、紛失、契約更新忘れの防止等があり、本格普及する可能性がある。



株価チャート (上場来・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	212.36 (09/25)
52週高値(日付)	290.12 (20/09/02)
52週安値(日付)	59.67 (19/09/30)
時価総額	393億ドル 4兆1,516億円
株価変化率(%)	157.2 (過去6ヶ月間) 250.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	— (倍)
株価売上高比率	33.2 (倍)
PBR	78.3 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	-38.6 (%)
株式ベータ	0.74 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2019/01	701	35	-426	赤継	-426	赤継	-3.16	0.00
2020/01	974	39	-194	赤継	-208	赤継	-1.18	0.00
四半期業績								
2020/Q2	236	—	-65	—	-69	—	-0.39	0.00
2021/Q2	342	45	-59	赤継	-65	赤継	-0.35	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

アップル(AAPL)

上場市場

ナスダック

セクター

IT機器

デジタルIT機器の設計・販売大手。収益の多様化が進む。5G対応iPhoneを投入予定

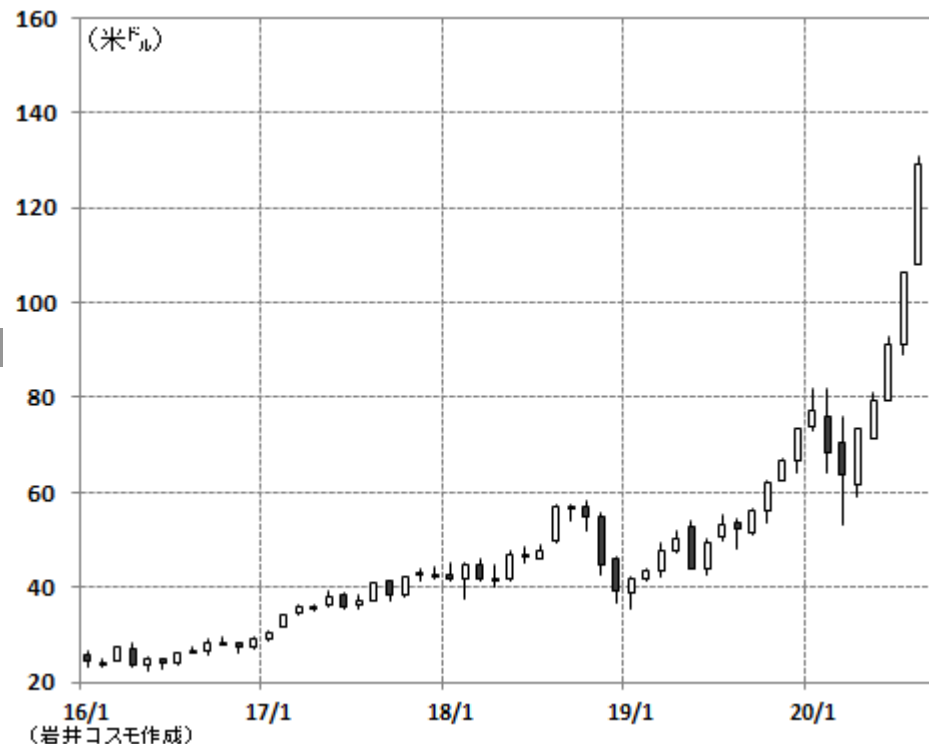
会社概要

スマートフォン(スマホ)「iPhone」や、タブレットPC「iPad」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は現クックCEO体制へ、12年以降は大規模な株主還元策を開始。独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。15年3月、NYダウ工業株平均に採用された。

注目ポイント

□ **第3四半期、市場予想を上回る着地**：20年4-6月期決算は、売上高が前年同期比11%増の597億ドルと市場予想の523億ドルを大幅に上回った。世界中で外出制限が広がるなか、予想よりもハード機器の売り上げが落ち込まなかった。また同社が注力するサービス部門(アプリストア、動画配信等)も堅調な成長を遂げた。

□ **新型「アップルウォッチ」発表、「iPhone」は10月にも**：同社は9月15日、腕時計型端末「アップルウォッチ」とタブレット端末「iPad」の新機種を発表。「アップルウォッチ」の最新機種には血中酸素濃度の測定機能を持たせるなど、健康志向の高まりを受けた機種となる。注目の新型「iPhone」の発表については10月中の発表が見込まれる。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株価(米ドル)	112.28 (09/25)	実績PER	34.2 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	137.98 (20/09/02)	株価売上高比率	7.2 (倍)	2018/09	265,595	16	70,898	16	59,531	23	11.91	2.72
52週安値(日付)	53.158 (20/03/23)	PBR	26.6 (倍)	2019/09	260,174	-2	63,930	-10	55,256	-7	11.89	3.04
時価総額	1兆9,203億ドル 202兆7424億円	税前提当利回り(%)	0.73 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	81.3 (過去6ヶ月間) 105.2 (過去1年間)	配当成長率(%)	6.0 (過去1年間)	2019/Q3	53,809	—	11,544	—	10,044	—	2.18	0.77
		株主資本利益率(ROE)	69.2 (%)	2020/Q3	59,685	11	13,091	13	11,253	12	2.58	0.82
		株式ベータ	1.01 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

フェイスブック(FB)

上場市場

ナスダック

セクター

インターネットサービス

27億人のユーザーを抱える世界最大のSNS運営会社

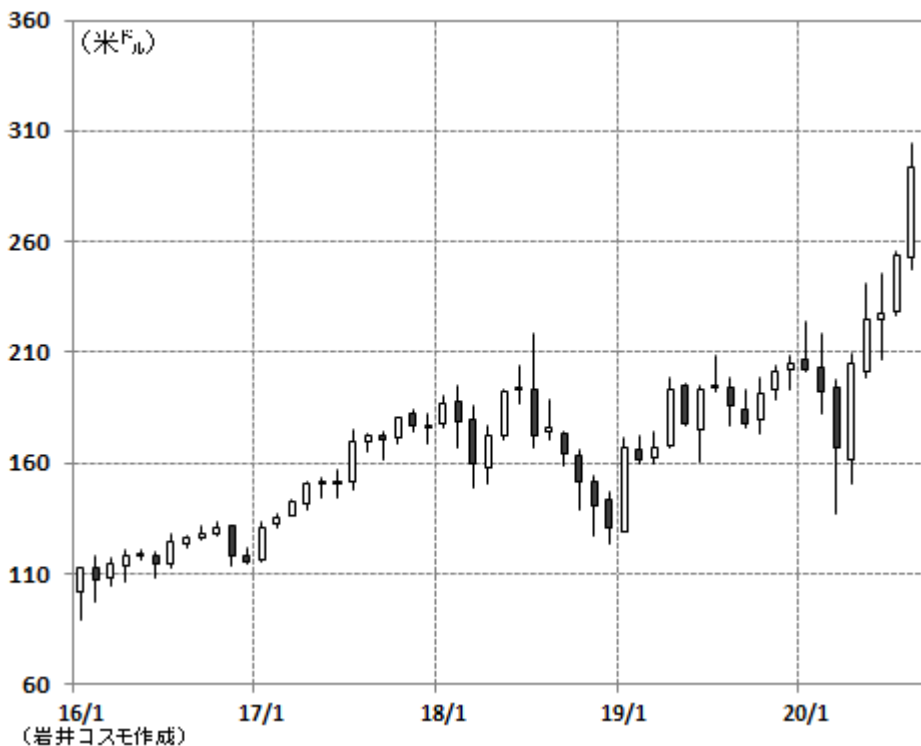
会社概要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、会員数(月間稼動)は全世界で27.0億人(20年4-6月期)。マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセス・ストーリーは映画化された。収入構成の99%が広告、1%が決済手数料などの広告外収入(前期実績)。対話アプリのワッツアップを14年10月に買収。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は52,534名(20年6月末)。

注目ポイント

□ **電子商取引事業を強化**: 同社は自社の主力アプリに新たなショッピング機能を追加する。新型コロナの感染拡大が続く中で増加する、オンライン・ショッピングをフルに活かす広範な取り組みの一環。8月25日に新機能「フェイスブックショップ」は全米で本格展開を開始。同社は広告収入依存度が高く、コロナ禍で収益の多角化を図る。

□ **CEOが公聴会で証言**: 同社のマーク・ザッカーバーグCEOは反トラスト法を巡る問題で、議会下院で開かれた公聴会で証言した。過去の買収案件に関して「ライバル潰し」との批判については、「買収時から成功が約束されていたわけではない」と反論した。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	254.82 (09/25)
52週高値(日付)	304.67 (20/08/26)
52週安値(日付)	137.11 (20/03/18)
時価総額	7,259億ドル 76兆6,442億円
株価変化率(%)	62.5 (過去6ヶ月間) 43.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	31.1 (倍)
株価売上高比率	9.7 (倍)
PBR	6.6 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	23.6 (%)
株式ベータ	0.99 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2018/12	55,838	37	24,913	23	15,920	39	7.57	0.00
2019/12	70,697	27	23,986	-4	18,485	-16	6.43	0.00
四半期業績								
2019/Q2	16,886	—	4,626	—	2,616	—	0.91	0.00
2020/Q2	18,687	11	5,963	29	5,178	98	1.80	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

アルファベット(GOOG)

上場市場

ナスダック

セクター

インターネットサービス

インターネット検索サービス世界最大手。ネット広告の次の収益基盤を模索

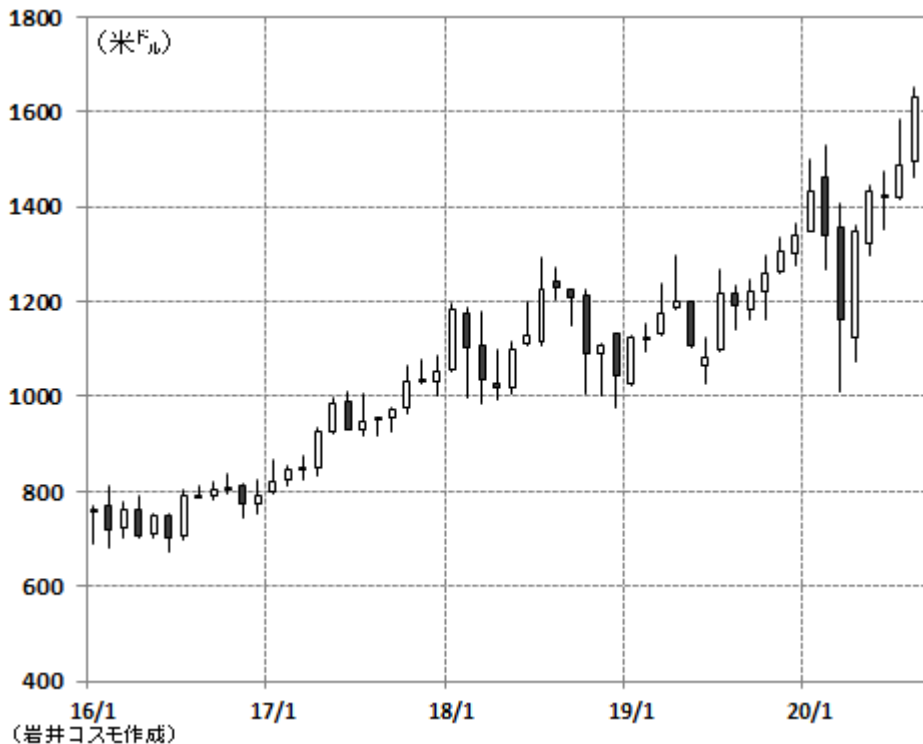
会社概要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。また自動運転車などを社内で育成中。またアプリ・コンテンツ販売やクロムブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトなどの事業展開も。本社はカリフォルニア州、従業員数は127,498人(20年6月末)。

注目ポイント

□ **インドのジオに出資**：同社傘下のグーグルは7月15日、インド財閥のリライアンス・インダストリーズのデジタル事業会社、ジオ・プラットフォームズへ45億ドルを出資すると表明。ジオを巡っては、4月にフェイスブックが57億ドルの出資を表明済み。インドの電子商取引市場は勃興期にあり、アマゾン・ドットコムや地元勢も巻き込み、競争が激化する。

□ **フィアット・クライスラーがウェイモの技術を採用**：欧米自動車大手のフィアット・クライスラー・オートモビルズは、自社の自動運転車に同社傘下のウェイモの技術を採用すると発表。人が操作をしない「レベル4」の自動運転が対象。スウェーデンのホルボ・カーも、ウェイモを独占サプライヤーに選んでおり、業界のスタンダード化を狙う。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標 (バリュエーション)		通期業績								
株価(米ドル)	1439.06 (09/25)	実績PER	31.8 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	1725.76 (20/09/02)	株価売上高比率	6.0 (倍)	2018/12	136,819	23	27,524	5	30,736	143	43.70	0.00
52週安値(日付)	1009 (20/03/23)	PBR	4.7 (倍)	2019/12	161,857	18	34,231	24	34,343	12	18.00	0.00
時価総額	9,809億ドル 103兆5635億円	税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	29.6 (過去6ヶ月間) 17.4 (過去1年間)	配当成長率(%)	— (過去1年間)	2019/Q2	38,944	—	9,180	—	9,947	—	14.21	0.00
		株主資本利益率(ROE)	15.8 (%)	2020/Q2	38,297	-2	6,383	-30	6,959	-30	10.13	0.00
		株式ベータ	0.89 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

ネットフリックス(NFLX)

上場市場

ナスダック

セクター

インターネットサービス

米国の動画配信サービス最大手。オリジナル・コンテンツの充実で世界の加入者獲得を推進

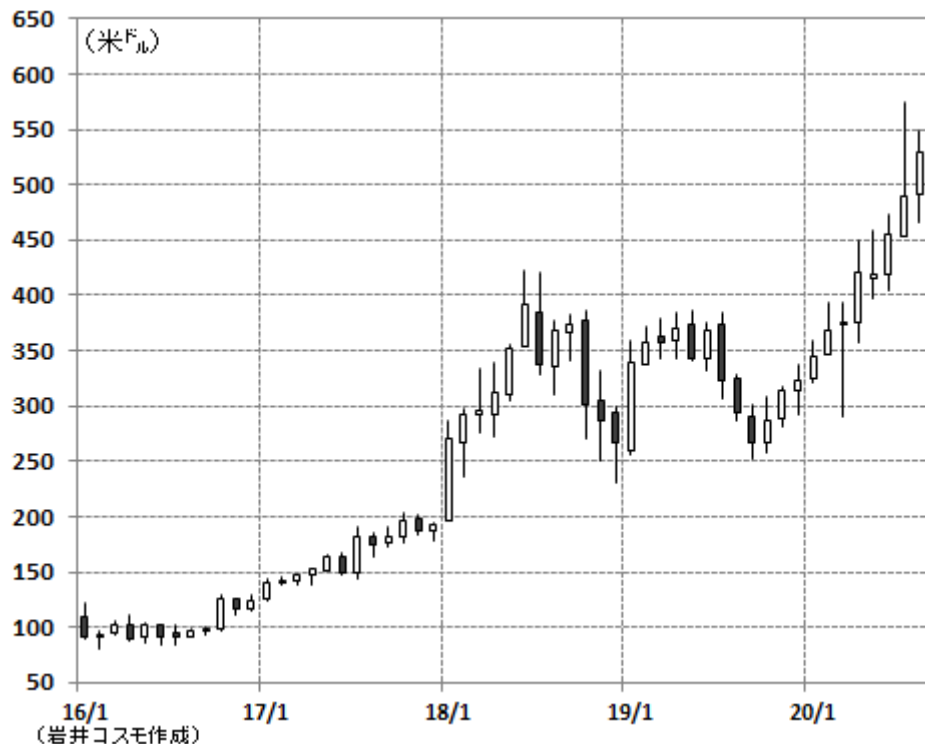
会社概要

1997年創立。オンラインDVDレンタルと映画やTV番組のネット配信(ストリーミング)を手掛ける。ネット宅配DVDレンタルから始めたが、現在は動画配信事業が主力。人気映画、テレビ番組を豊富に揃えるが、近年は自社制作番組を強化中。現在の展開地域は190カ国超、有料加入者数は北米が7,290万人、海外が1億2,005万人(20年6月末)、19年の世界加入者当りの月次収入は前期比13%増の12.57ドル。

注目ポイント

□ **業ごもり消費の恩恵を享受**: 20年4-6月期は、売上高は前年同期比25%増の61.5億ドル、純利益は同2.7倍の7.20億ドルだった。新型コロナウイルスの影響で在宅時間が増加、有料会員数の増加幅は2四半期連続で1,000万人の大台を突破。世界的な外出制限緩和の動きの中でも解約には繋がらず、売上高、純利益ともに過去最高を更新した。

□ **ディズニーの参入も会員離れ進まず**: ディズニーやワーナーメディアが米ストリーミング配信市場に本格参入するが、会員離れの懸念は薄まりつつある。コンテンツ制作費用の上昇を抑えながら良質な作品を提供すると同時に利益や現金収入を増やすことが求められている。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株価(米ドル)	482.88 (09/25)	実績PER	72.3 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	575.28 (20/07/13)	株価売上高比率	9.4 (倍)	2018/12	15,794	35	1,605	91	1,211	117	2.68	0.00
52週安値(日付)	257.12 (19/10/03)	PBR	22.8 (倍)	2019/12	20,156	28	2,604	62	1,867	54	4.13	0.00
時価総額	2,130億ドル 22兆4,841億円	税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	35.2 (過去6ヶ月間) 83.5 (過去1年間)	配当成長率(%)	— (過去1年間)	2019/Q2	4,923	—	706	—	271	—	0.60	0.00
		株主資本利益率(ROE)	34.7 (%)	2020/Q2	6,148	25	1,358	92	720	166	1.59	0.00
		株式ベータ	0.85 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

アマゾン・ドット・コム (AMZN)

上場市場

ナスダック

セクター

インターネット小売

インターネット小売世界最大手。ネット通販とクラウド受託サービス事業双方が成長

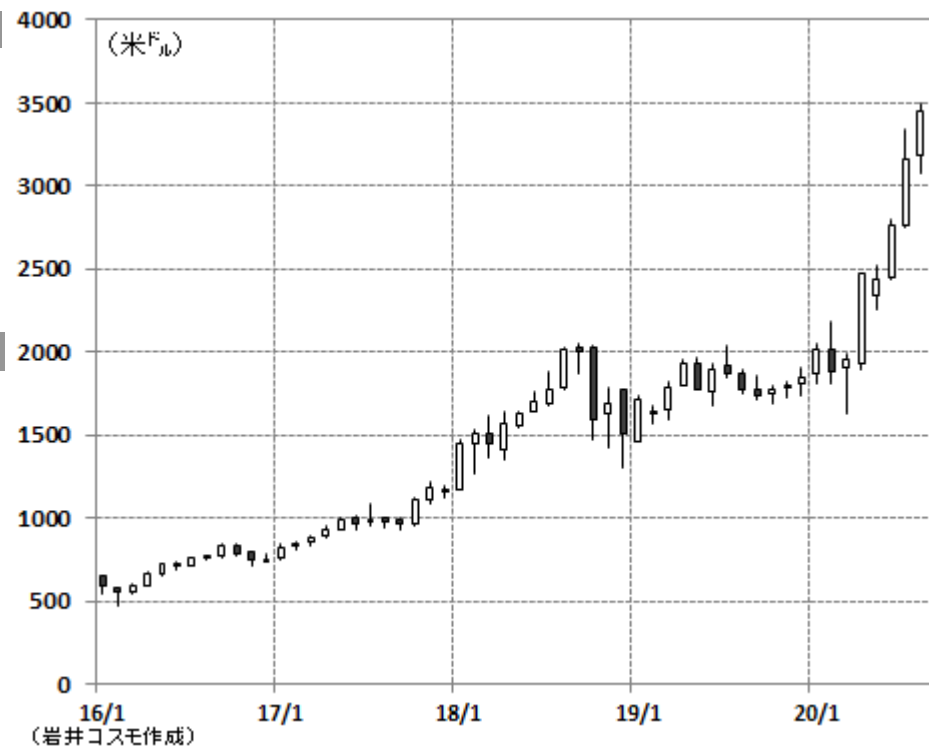
会社概要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、95年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「Kindleファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は1.5億人を超え、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。近年はAI家電のスピーカー型のエコが世界中でヒット。本社はワシントン州シアトル。

注目ポイント

□ **ネット通販好調**：20年4-6月期決算は、純利益が前年同期比2倍の52.4億ドルだった。新型コロナウイルス対策の外出規制が各地で広がり、ネット通販需要が急増。コロナ対策費用として40億ドル計上したが、これを吸収して過去最高益を更新した。売上高は同40%増の889.1億ドル(市場予想812.4億ドル)とこちらも過去最高を更新した。

□ **スラックと提携、マイクロソフトに対抗**：同社はビジネスチャット大手のスラック・テクノロジーとの提携を発表。クラウド部門のライバルのマイクロソフトに対抗する。非対面のビジネス・ツールを巡っては、ビデオ会議システムの「ズーム」やマイクロソフトの「チームス」など覇権争いが激化している。同社もスラックとの提携でクラウド戦略の多角化を図る。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	3095.13 (09/25)
52週高値(日付)	3550 (20/09/02)
52週安値(日付)	1627 (20/03/16)
時価総額	1兆5,503億ドル 163兆6826億円
株価変化率(%)	62.9 (過去6ヶ月間) 79.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	119.0 (倍)
株価売上高比率	4.8 (倍)
PBR	21.0 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	20.8 (%)
株式ベータ	0.80 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2018/12	232,887	31	12,421	203	10,073	232	20.14	0.00
2019/12	280,522	20	14,541	17	11,588	15	23.01	0.00

四半期業績

2019/Q2	63,404	—	3,084	—	2,625	—	5.22	0.00
2020/Q2	88,912	40	5,843	89	5,243	100	10.30	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

マイクロソフト(MSFT)

上場市場

ナスダック

セクター

ソフトウェア

ソフトウェア世界最大手。クラウド事業が好調

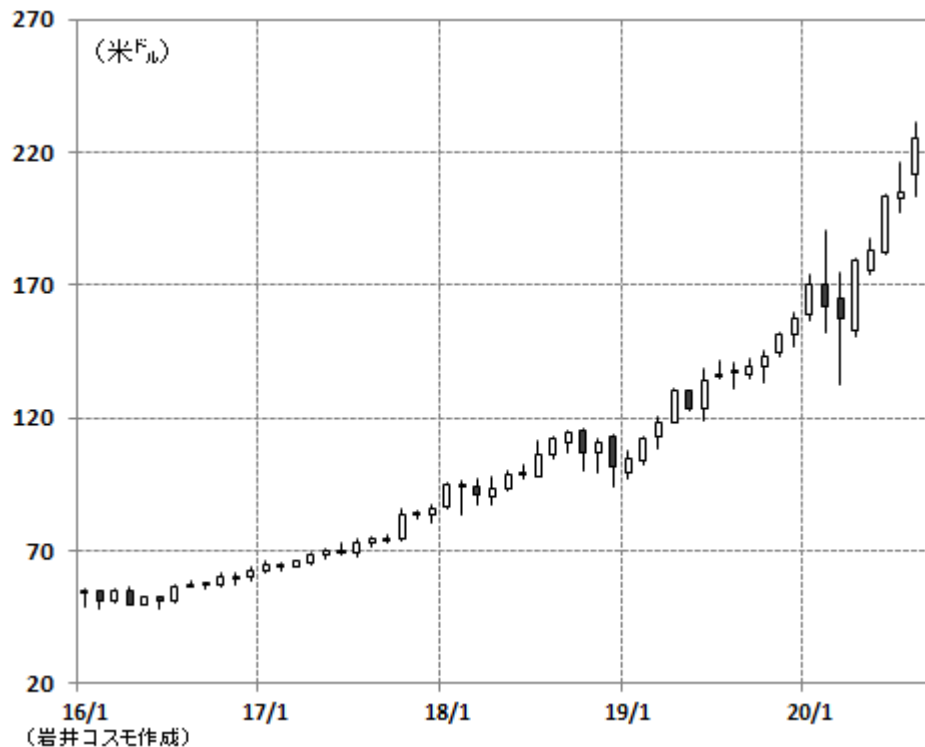
会社概要

ソフトウェア世界最大手。1975年創業。80～90年代にウィンドウズ(OS:基本ソフト)とオフィス(ワード、エクセル等)で急成長。ほかゲームやネット広告等も手掛け、企業から消費者向けまで幅広く事業を展開。2016年12月にビジネス向けSNSサイトの「リンクイン」を買収。2014年に就任したサテラCEOのもと、デバイス・サービス戦略から生産性やモバイル、クラウドを重視した経営に軸足を移している。

注目ポイント

□**クラウド事業の拡大が奏功**: 同社はクラウドインフラ市場(IaaS)で首位アマゾンウェブサービス(AWS)に次ぐ位置にあり、2強体制を構築。収益性の改善のため、製品からクラウドサービスに収益構造を移行中。特にワードやエクセル等クラウド版の「オフィス365」や、データ受託管理の「アジュール」、リンクインなどが好調。

□**4-6月期、テレワークでクラウド需要増加**: 20年4-6月期の売上高は前年同期比13%増の380億ドルと市場予想365億ドルを上回った。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、テレワークへの移行で対応に必要なネットベースでのソフトウェアの利用やクラウドサービスの需要が高まったことが追い風となった。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	207.82 (09/25)
52週高値(日付)	232.85 (20/09/02)
52週安値(日付)	132.53 (20/03/23)
時価総額	1兆5,727億ドル 166兆0467億円
株価変化率(%)	38.8 (過去6ヶ月間) 50.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	35.8 (倍)
株価売上高比率	11.1 (倍)
PBR	13.3 (倍)
税前提当利回り(%)	1.08 (直近年率)
配当成長率(%)	10.9 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	40.1 (%)
株式ベータ	0.89 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2019/06	125,843	14	42,959	23	39,240	137	5.06	1.84
2020/06	143,015	14	52,959	23	44,281	13	5.76	2.04

四半期業績

2019/Q4	33,717	—	12,405	—	13,187	—	1.71	0.46
2020/Q4	38,033	13	13,407	8	11,202	-15	1.46	0.51

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

導入企業の内勤業務の効率化・費用削減に貢献し高成長する企業

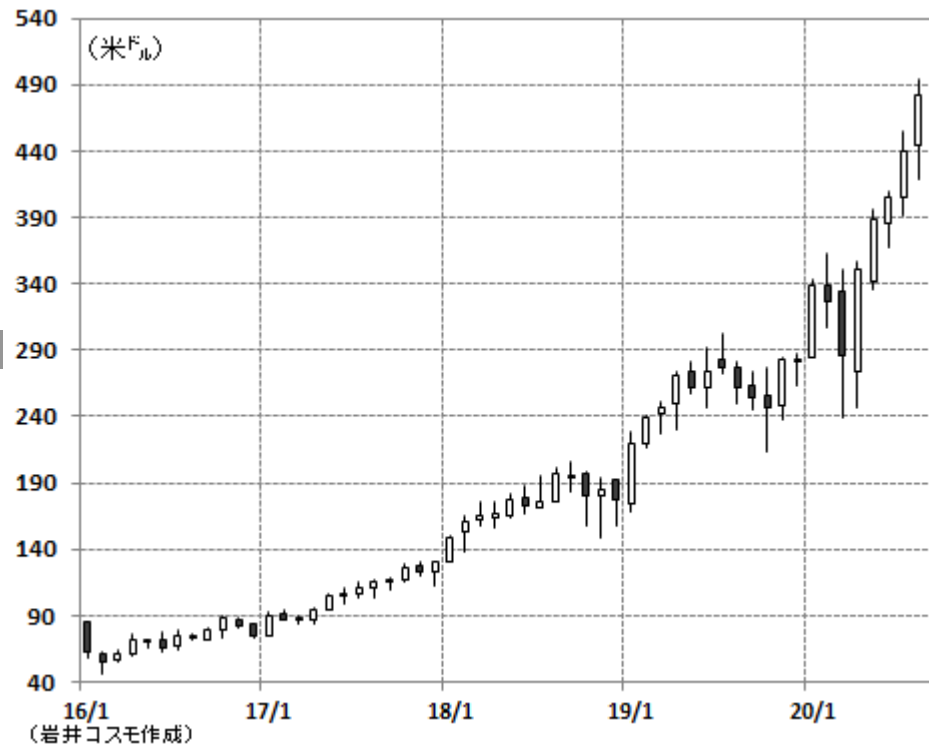
会社概要

米クラウド専門のソフトウェア企業。企業向けの社内ワークフローの自動化、業務プロセスの標準化を行う、社名と同じ「サービスナウ」というソフトウェアをクラウド形式で販売、採用企業も世界で拡大中。2004年設立、12年6月にニューヨーク上場。地域別売上高(19年度)は北米66%、欧州25%、アジア・太平洋が9%。本社はカリフォルニア州サンタクララ、従業員数は10,371名(19年12月末)。19年11月にS&P500指数に採用。

注目ポイント

□ **日本の大手も採用する社内効率化クラウド**：主力の業務効率改善ソフト「ワークフロークラウド」を中心に販売、社内ワークフローの自動化を通じて社内の部署間のやり取りの遅滞や情報共有上の課題を解決し、より効率的な業務の遂行が可能となる。クラウドのメリットを活かし、初期投資負担が軽く、経費節減と社内の効率化が同時に図られ、パナソニック、ヤマハ、NTTデータなど、日本大手企業の導入実績がある。

□ **契約企業数6,200社突破**：最近では上記ソフト以外に、人事や顧客支援分野等のソフトも提供、製品ラインナップを拡充している。契約顧客数は全世界で6,200社を超え、同社は米フォーブス誌の『2018年の世界で最も革新性のある企業』にも選ばれた。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	479.97 (09/25)
52週高値(日付)	501.8 (20/09/02)
52週安値(日付)	214 (19/10/23)
時価総額	921億ドル 9兆7,195億円
株価変化率(%)	75.2 (過去6ヶ月間) 91.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	129.7 (倍)
株価売上高比率	23.0 (倍)
PBR	37.1 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	39.0 (%)
株式ベータ	0.98 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2018/12	2,609	36	-42	赤継	-27	赤継	-0.15	0.00
2019/12	3,460	33	42	黒転	627	黒転	3.18	0.00
四半期業績								
2019/Q2	834	—	-27.0	—	-11	—	-0.06	0.00
2020/Q2	1,071	28	62	黒転	41	黒転	0.20	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

テラドック・ヘルス(TDOC)

上場市場

ニューヨーク

セクター

ヘルスケア・サービス

オンライン診療サービスのスタートアップ企業。コロナ禍が普及の契機に

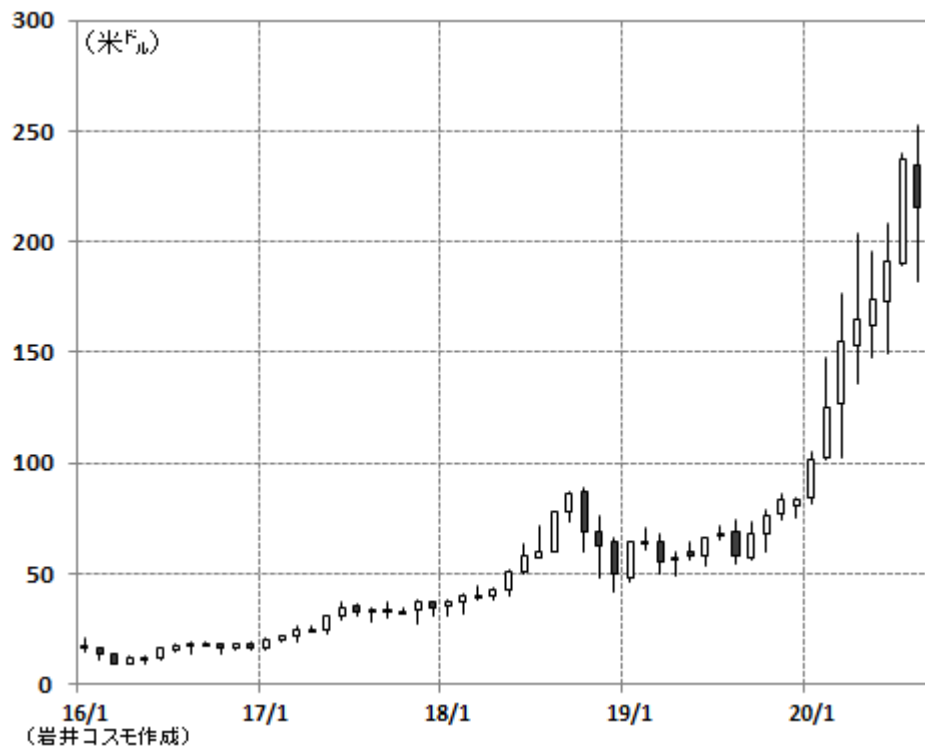
会社概要

オンライン診療サービスを提供する米国大手。総合診療医から専門医まで世界中に5万人以上の臨床医のネットワークを構築。売上は雇用主または利用者が支払う登録会員の会費と、一部の診療手数料からなる。同社は会員(患者)と医者をつなげるネットを介したプラットフォームを提供する。2002年設立、15年7月にニューヨーク市場に上場。地域別売上構成比(19年度)は米国が80.5%、米国外が19.5%。

注目ポイント

□**コロナ禍でオンライン診療が普及の契機に**：会員は対面診療よりも格安な価格で問診サービスが受けられるほか、雇用主や医療保険会社にとって医療費削減にもつながる利点がある。新型コロナウイルスの感染拡大によって相談数が急増。新型コロナウイルスに関する相談から呼吸器系疾患以外まで幅広く、またメンタルヘルスの診療も増加した。

□**リボンゴ・ヘルスを買収**：8月5日に同業のリボンゴ・ヘルスとの合併を発表(テラドックが存続会社)。リボンゴの1株に対し、テラドックの0.592株と現金11.33ドルを割り当てる。テラドックのCEOは声明で「買収により遠隔医療市場のリーダーとなり、成長を加速させる」と自信を示した。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	219 (09/25)
52週高値(日付)	252.79 (20/08/04)
52週安値(日付)	60.06 (19/10/02)
時価総額	182億ドル 1兆9,182億円
株価変化率(%)	33.4 (過去6ヶ月間) 229.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	— (倍)
株価売上高比率	22.6 (倍)
PBR	13.4 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	-8.2 (%)
株式ベータ	0.67 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2018/12	418	79	-71	赤継	-97	赤継	-1.47	0.00
2019/12	553	32	-80	赤継	-99	赤継	-1.38	0.00
四半期業績								
2019/Q2	130	—	-22	—	-29	—	-0.41	0.00
2020/Q2	241	85	-7	赤継	-26	赤継	-0.34	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

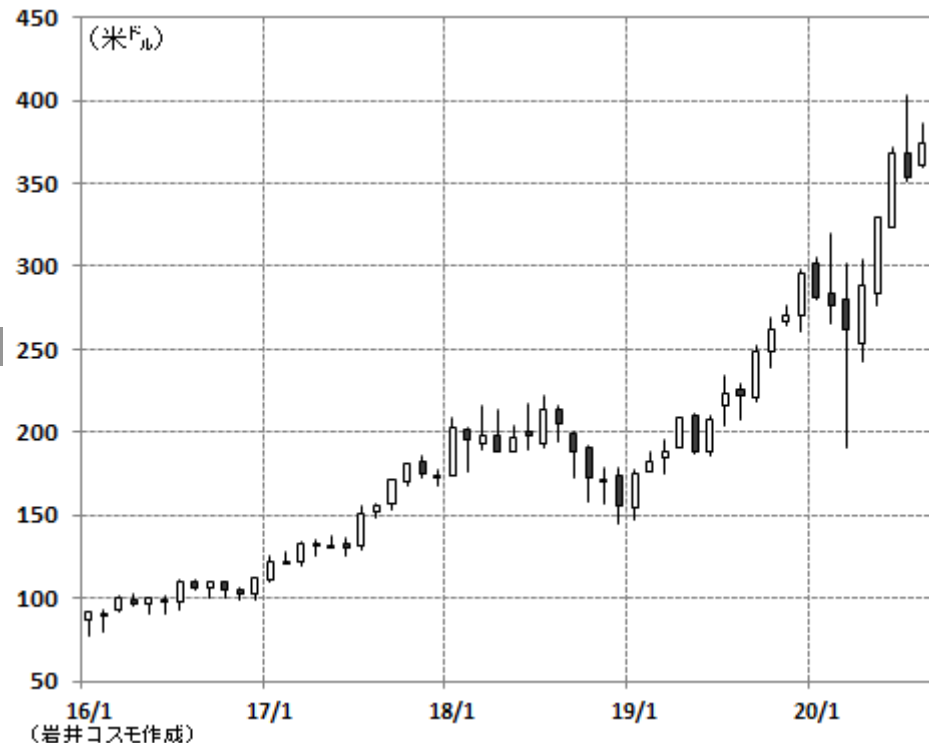
オランダの半導体製造装置世界大手。「EUV露光」の唯一のメーカー

会社概要

オランダの半導体製造装置メーカー。半導体製造工程の前工程の装置メーカーの2018年の売上規模で、首位の米アプライト・マテリアルズに次ぐ2位に位置する。半導体の回路をシリコンウエハ上に焼き付ける露光装置のシェアの約8割を抑える。1984年オランダのフィリップス社と半導体商社ASMインターナショナルに折半出資された会社が起源。本社はオランダ・フェルトホフェン、従業員数は24,330人(20年6月末)。

注目ポイント

- **EUV露光で世界をリード**: 世界で唯一単独供給する「EUV露光装置」は、光源に屈折率の大きな極端紫外線を用いて、より細かい電子回路を焼き付けることが可能であり、先端半導体の開発に大きく貢献。「EUV露光装置」は巨額な研究開発費もあり、1台1億ユーロ以上と高額だが、前19年度は26台、金額にして28億ユーロを出荷。
- **コロナ禍での需要の高まり**: 4-6月期の売上高は前年同期比30%増の33.3億ユーロ、純利益は同58%増の7.5億ユーロだった。ピーター・ウエニクCEOは「データ通信料が爆発的に増加しており、データセンター、在宅勤務インフラ向けに大規模な投資が行なわれている」とし、コロナ禍での需要の高まりを説明した。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	360.48 (09/25)
52週高値(日付)	402.83 (20/07/13)
52週安値(日付)	191.28 (20/03/18)
時価総額	1,534億ドル 16兆2,004億円
株価変化率(%)	42.7 (過去6ヶ月間) 47.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	44.9 (倍)
株価売上高比率	10.2 (倍)
PBR	10.4 (倍)
税前配当利回り(%)	0.81 (直近年率)
配当成長率(%)	12.1 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	23.9 (%)
株式ベータ	1.14 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ユーロ)	前同比 (%)	営業利益 (百万ユーロ)	前同比 (%)	当期利益 (百万ユーロ)	前同比 (%)	1株利益 (ユーロ)	配当 (ユーロ)
2018/12	10,944	22	2,965	22	2,592	25	6.08	1.40
2019/12	11,820	8	2,791	-6	2,592	0	6.15	3.15
四半期業績								
2019/Q2	2,568	—	494	—	476	—	1.13	—
2020/Q2	3,326	30	905	83	751	58	1.79	—

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

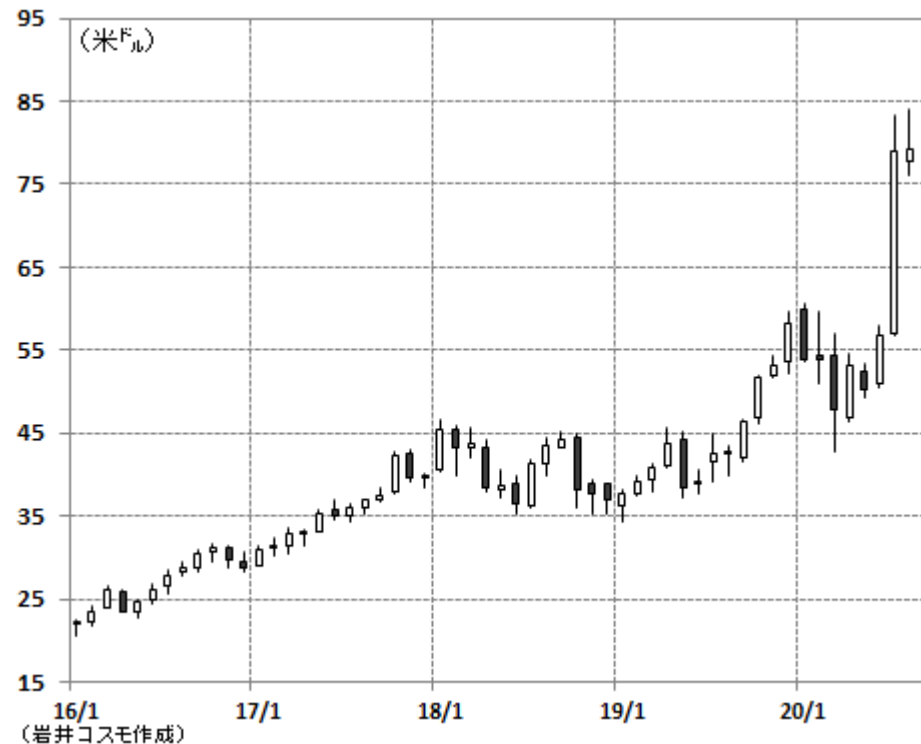
会社概要

顧客の製品製造を受託する、専門ファウンドリ・ビジネスの先駆企業。TSMCブランドでの設計、製造、販売を一切行なわないことで、顧客との競争を排除。世界最大の半導体製造ファウンドリとして、2019年には499の顧客企業を対象に、10,761個の製品を製造。同社が製造する半導体はコンピュータ、通信、産業向けと多岐に渡り、あらゆる場面で使用されている。

注目ポイント

□ **主要顧客は世界的企業**: 主要顧客には、アップル、クアルコム、ファーウェイ、エヌビディア、アドバンスト・マイクロ・デバイス等、世界的大企業が名を連ねている。これらの企業はスマホ、サーバ等で使用される最高水準の半導体の製造を同社に委託している。中でも最大顧客のアップルは全売上高の20%程度を占めていると見られる。

□ **ファーウェイの埋め合わせは可能**: 同社は米国の制裁強化に伴い、ファーウェイとの取引が失われた場合でも、他の顧客からの受注で埋め合わせが可能だと自信を示す。今現在、米国で120億ドル規模の工場建設プロジェクトに取り組んでおり、米国政府の懸念解消に努める。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株価(米ドル)	78.88 (09/25)	実績PER	26.3 (倍)	決算期	売上高 (百万台湾ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万台湾ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万台湾ドル)	前同比 (%)	1株利益 (台湾ドル)	配当 (台湾ドル)
52週高値(日付)	86.79 (20/09/15)	株価売上高比率	9.7 (倍)	2018/12	1,031,474	—	383,624	—	351,131	—	67.71	40.00
52週安値(日付)	42.7 (20/03/19)	PBR	6.9 (倍)	2019/12	1,069,985	4	372,701	-3	345,264	-2	66.58	50.00
時価総額	4,091億ドル 43兆1,904億円	税前配当利回り(%)	2.16 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	68.2 (過去6ヶ月間) 73.3 (過去1年間)	配当成長率(%)	29.8 (過去1年間)	2019/Q2	240,998	—	76,304	—	66,765	—	12.85	—
		株主資本利益率(ROE)	27.8 (%)	2020/Q2	310,699	29	131,094	72	120,822	81	23.30	—
		株式ベータ	0.80 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

アドバンス・マイクロ・デバイス(AMD)

上場市場

ナスダック

セクター

半導体

インテルやエヌビディアのライバル半導体メーカー。市場シェア獲得に期待

会社概要

1969年設立の老舗半導体メカ。現在は演算処理(CPU)・画像処理用半導体(GPU)、チップセットの開発・販売専門企業。2006年にGPU大手のATI社を買収、2011年に画像処理機能統合型半導体APUを市場投入。APUは最新「Xbox シリーズX/S」、「プレイステーション5」等に採用され、据置型ゲーム機市場で存在感。部門別売上構成比(19年度)はCPU・GPUが70%、APU等の組込み半導体が30%。

注目ポイント

□ **インテルやエヌビディアに大きく劣後も巻き返し目指す**：AMDはインテルのCPUやエヌビディアのGPUに対抗製品を提供できる稀有な半導体企業。ただPCやサーバ向けCPUがインテルが圧倒的シェア。GPUの分野でもエヌビディアに後塵を拝している。ただ近年は優秀な半導体設計者を他社から引き戻し、半導体の性能に大きな影響を与える微細化でインテルに先行、巨人インテルの牙城の切り崩しにかかる。

□ **再び成長軌道へ**：同社は4-6月期決算で、20年度通期の売上高成長率見通しを、前年比32%増と従来の同20~30%増から上方修正。前回決算ではコロナの影響を加味し下方修正していた。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株価(米ドル)	78.055 (09/25)	実績PER	113.6 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	94.27 (20/09/02)	株価売上高比率	11.7 (倍)	2018/12	6,475	23	451	255	337	黒転	0.32	0.00
52週安値(日付)	27.44 (19/10/03)	PBR	27.7 (倍)	2019/12	6,731	4	631	40	341	1	0.30	0.00
時価総額	916億ドル 9兆6,755億円	税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	67.6 (過去6ヶ月間) 171.8 (過去1年間)	配当成長率(%)	— (過去1年間)	2019/Q2	1,531	—	59	—	35	—	0.03	0.00
		株主資本利益率(ROE)	23.4 (%)	2020/Q2	1,932	26	173	193	157	349	0.13	0.00
		株式ベータ	1.31 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名 (ティッカー)

エヌビディア(NVDA)

上場市場

ナスダック

セクター

半導体開発

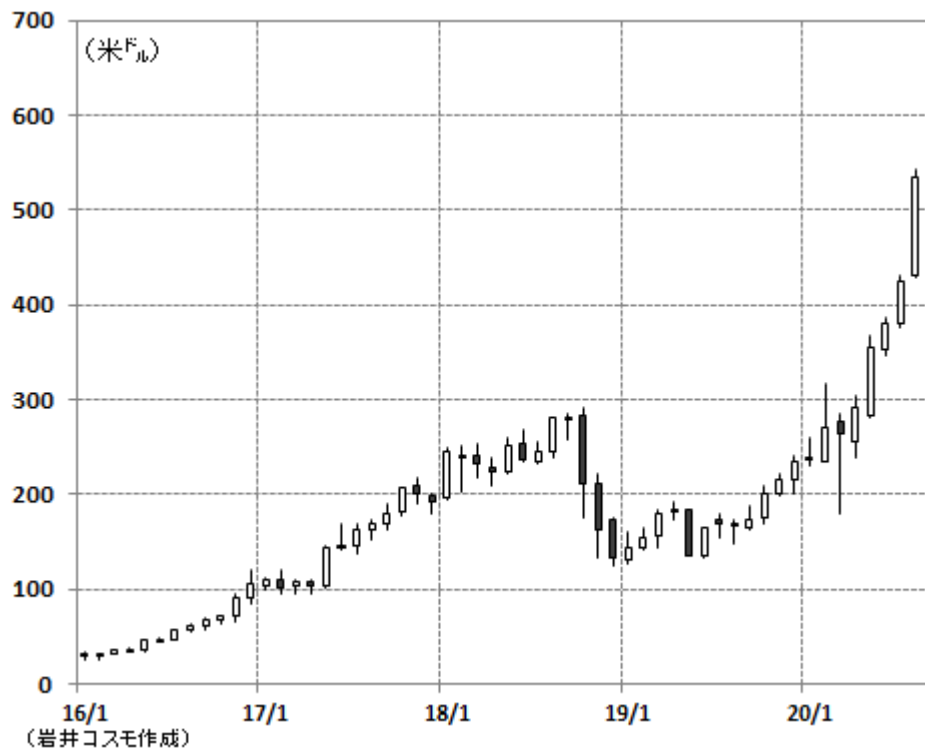
「人工知能(AI)」、「自動運転」の新市場に半導体を供給

会社概要

1993年設立の米国の半導体メカ。コンピュータのグラフィックス処理や演算処理の高速化を主な目的とするGPU(画像処理半導体)を設計・開発する。自社で製造を行わないファブレスメカで台湾セミコンダクタや韓国サムスン電子に製造を委託。用途別売上構成はゲーム市場向けが43%、視覚化技術に関するプロ向けが5%、AIを含むデータセンター向けが45%、自動車向けが3%、OEM&IPが4%(20年5-7月期)。

注目ポイント

- 「AI」の計算処理に同社GPUが活躍: IBMやアマゾン、マイクロソフト、アルファベットなどのIT大手各社は「深層学習(自ら学ぶ)」といった新技術を用いた人工知能の計算処理に同社半導体を利用している。
- 英アームの買収を発表: 同社は、ソフトバンクGとビジョン・ファンドが保有する半導体設計会社の英アームの全株式について、最大400億ドルで買い取ると発表。買収は現金と株式を組み合わせる形で行なわれる。ソフトバンクGとビジョン・ファンドは、現金100億ドルと215億ドル相当の同社株式を受け取り、取引完了後には最大で同社株式8.1%を保有する筆頭株主となる見込み。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株 価(米ドル)	514.95 (09/25)	実績PER	83.8 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	589 (20/09/02)	株価売上高比率	24.2 (倍)	2019/01	11,716	21	3,804	19	4,141	36	6.63	0.61
52週安値(日付)	169.33 (19/09/27)	PBR	22.8 (倍)	2020/01	10,918	-7	2,846	-25	2,796	-32	4.52	0.64
時 価 総 額	3,177億ドル 33兆5,453億円	税前提当利回り(%)	0.12 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	103.8 (過去6ヶ月間) 199.8 (過去1年間)	配当成長率(%)	0.0 (過去1年間)	2020/Q2	2,579	—	571	—	552	—	0.90	0.16
		株主資本利益率(ROE)	27.9 (%)	2021/Q2	3,866	50	651	14	622	13	0.99	0.16
		株式ベータ	1.24 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

ビザ(V)

上場市場

ニューヨーク

セクター

決済サービス

クレジットカード決済サービス世界最大手。現金から電子決済への移行による恩恵を享受

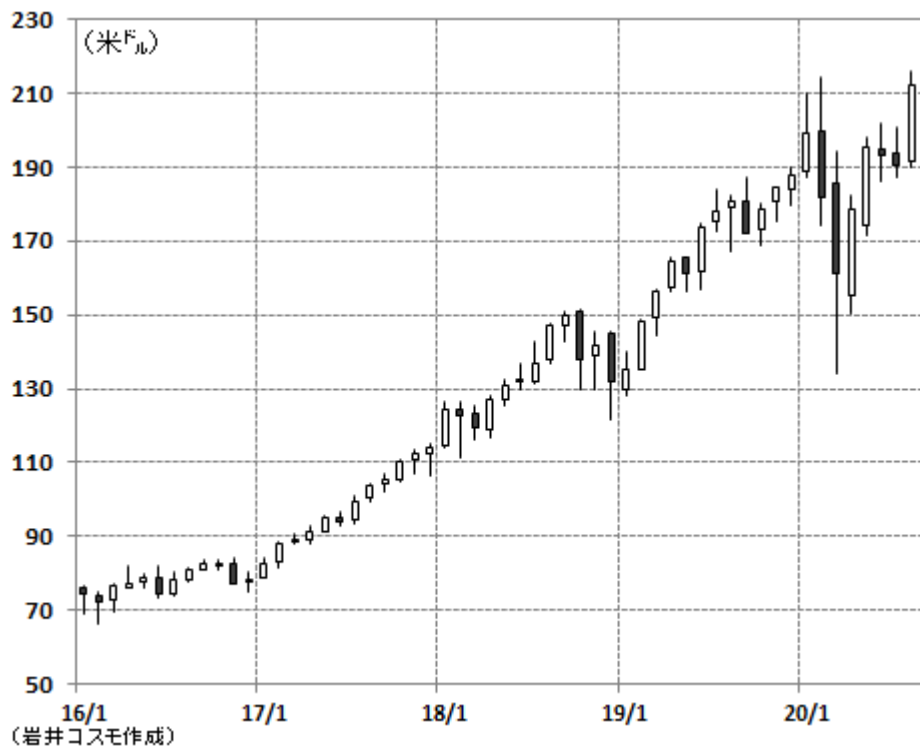
会社概要

クレジットカード決済サービス世界最大手。200カ国・地域で認証ネットワーク「ビザ・ネット」を展開。デビットカードやプリペイドカード、ATM決済サービスも手掛ける。カード総発行枚数は34.8億枚(19年12月末)。カードの決済サービスのみを行い、与信業務は銀行が行う仕組みであるため、事業リスクが比較的小さい。現金から電子決済への移行による恩恵を享受。NYダウ工業株平均構成銘柄。

注目ポイント

□**上場来初めての減収**：20年4-6月期決算では、営業収益が前年同期比18%減の48.4億ドル(市場予想48.4億ドル)、純利益が同23%減の23.7億ドル、一部項目を除く調整後1株利益は1.06ドル(同1.03ドル)だった。同社の四半期決算で売上高が前年同期から減少したのは、2008年の上場以来初めてで、新型コロナウイルス感染拡大の影響が色濃く反映された決算となった。

□**直近トレンド(営業データ)**：7月の米国内の決済金額は前年同月比で8%増、8月は同7%増と増加傾向にあるものの、国境間をまたぐクロスボーダー取引(欧州内移動を除く)では、7月が同44%減、8月は同43%減と低水準にとどまっている。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株 価(米ドル)	197.25 (09/25)	実績PER	34.4 (倍)	決算期	営業収益 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	217.33 (20/09/02)	株価売上高比率	15.2 (倍)	2018/09	20,609	12	12,954	7	10,301	54	4.42	0.88
52週安値(日付)	133.94 (20/03/23)	PBR	12.7 (倍)	2019/09	22,977	11	15,001	16	12,080	17	5.32	1.05
時 価 総 額	4,345億ドル 45兆8,795億円	税前提当利回り(%)	0.61 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	22.1 (過去6ヶ月間) 13.4 (過去1年間)	配当成長率(%)	20.0 (過去1年間)	2019/Q3	5,840	—	3,908	—	3,101	—	1.37	0.25
		株主資本利益率(ROE)	39.3 (%)	2020/Q3	4,837	-17	2,999	-23	2,373	-23	1.07	0.30
		株式ベータ	1.01 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

ペイパル・ホールディングス(PYPL)

上場市場

ナスダック

セクター

インターネットサービス

オンライン決済サービス大手。安心、簡単、受渡し保証などを武器に勢力拡大中

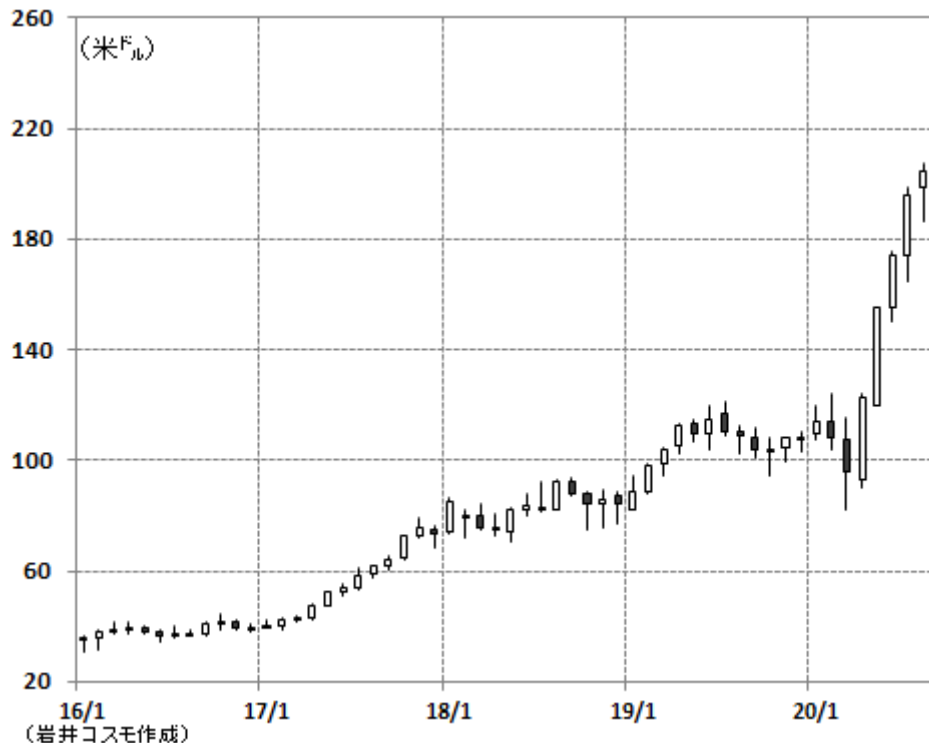
会社概要

98年創業の米オンライン決済サービス大手。02年にイーベイにより買収され、15年7月に分離・独立した。事前登録したクレジットカードや銀行口座を用いてネットで代金決済するサービス等を展開、決済の堅固な安全性や利便性の高さが特徴。19年の取引処理件数は前年比25%増の124億件。世界の100以上の通貨の支払いに対応。地域別売上構成は米国が53%、その他が47%(19年実績)。

注目ポイント

□ **ネット通販拡大の恩恵を享受**: 20年4-6月期決算は、売上高が前年同期比22%増の52.6億ドル、純利益が同86%増の15.3億ドルだった。新型コロナウイルス感染拡大で消費者がネット通販を選好、オンライン販売に切り替える業者が増加した。総取扱高は同30%増の2,220億ドルだった。

□ **金融業界の地殻変動**: ペイパルの時価総額が7月に一時、米銀行2位のバンク・オブ・アメリカを上回った。両社の差は昨年末時点で1,840億ドルあったが、一気に抜き去った。同社はコロナ禍でのネット決済需要急増の恩恵を受ける一方で、銀行業界は低金利や貸倒引当金の急増に苦しみ、金融の世界でもネット企業の台頭が著しい。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	187.25 (09/25)
52週高値(日付)	212.45 (20/09/02)
52週安値(日付)	82.12 (20/03/23)
時価総額	2,197億ドル 23兆1,960億円
株価変化率(%)	100.3 (過去6ヶ月間) 83.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	82.6 (倍)
株価売上高比率	11.4 (倍)
PBR	12.5 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	15.3 (%)
株式ベータ	1.04 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2018/12	15,451	18	2,194	3	2,057	15	1.71	0.00
2019/12	17,772	15	2,719	24	2,459	20	2.07	0.00

四半期業績

2019/Q2	4,305	—	705	—	823	—	0.69	0.00
2020/Q2	5,261	22	951	35	1,530	86	1.29	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

決済サービスを中心に幅広くフィンテック事業を手がける新興系企業

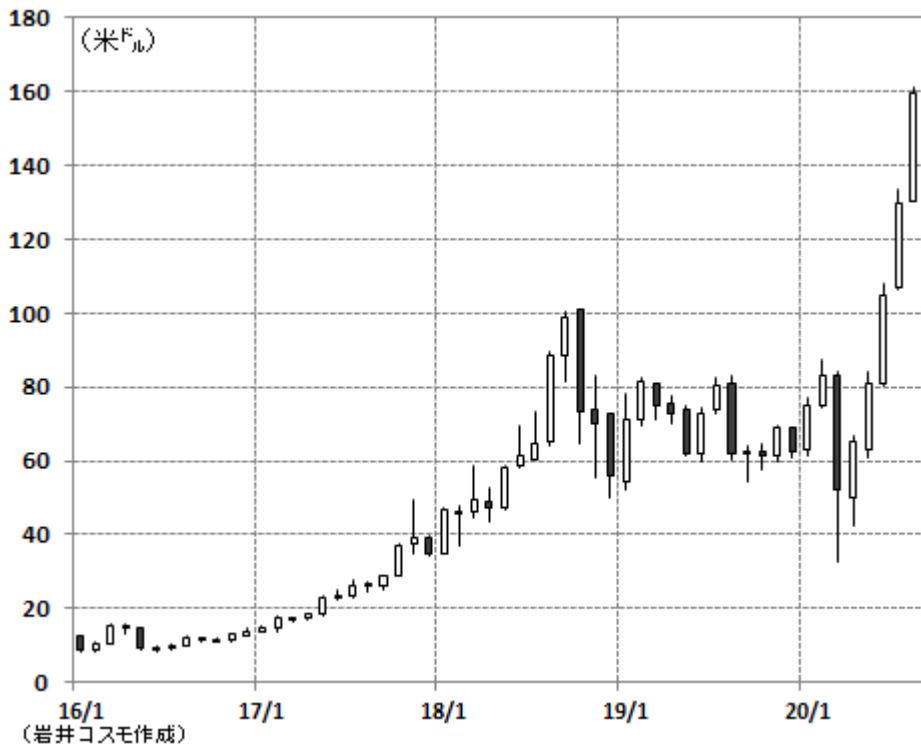
会社概要

中小零細企業向けのクレジットカード読み取り機器のパイオニアとして2009年に創業したフィンテックベンチャー。クレジットカード業界の加盟店契約業者の1社に位置付けられるが、従来型の同業他社と比べ簡単に導入しやすく、入金処理が早いなどの特長から中小企業向けのカード決済サービスの需要を急速に取り込むことに成功した。近年では金融総合アプリ「キャッシュアップ」の成長が業績を牽引する。

注目ポイント

□ **オンライン戦略を加速**：コロナ禍で同社が得意とする実店舗での決済サービスが制限される中、オンライン戦略を加速させる。同社の「スクエア・オンライン・ストア」を利用すれば、売り手が実店舗で取り扱っている商品をスムーズにネット通販に移行できる。

□ **コロナ対策経済法案が追い風に**：コロナ対策経済法案(通称CARES Act)に基づく失業給付金の支払いは金融総合アプリ「キャッシュアップ」の成長に追い風となっている。アプリの口座に直接入金されることから、アプリを通じた決済や個人間送金、株式・ビットコイン投資が急増している。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	157.72 (09/25)
52週高値(日付)	170.46 (20/09/02)
52週安値(日付)	32.35 (20/03/18)
時価総額	700億ドル 7兆3,857億円
株価変化率(%)	195.7 (過去6ヶ月間) 159.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	— (倍)
株価売上高比率	11.6 (倍)
PBR	36.2 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	19.5 (%)
株式ベータ	1.74 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2018/12	3,298	49	-37	赤継	-38	赤継	-0.09	0.00
2019/12	4,714	43	27	黒転	375	黒転	0.81	0.00

四半期業績

2019/Q2	1,174	—	-1	—	-7	—	-0.02	0.00
2020/Q2	1,924	64	-23	赤継	-11	赤継	-0.03	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

S&Pグローバル(SPGI)

上場市場

ニューヨーク

セクター

情報サービス

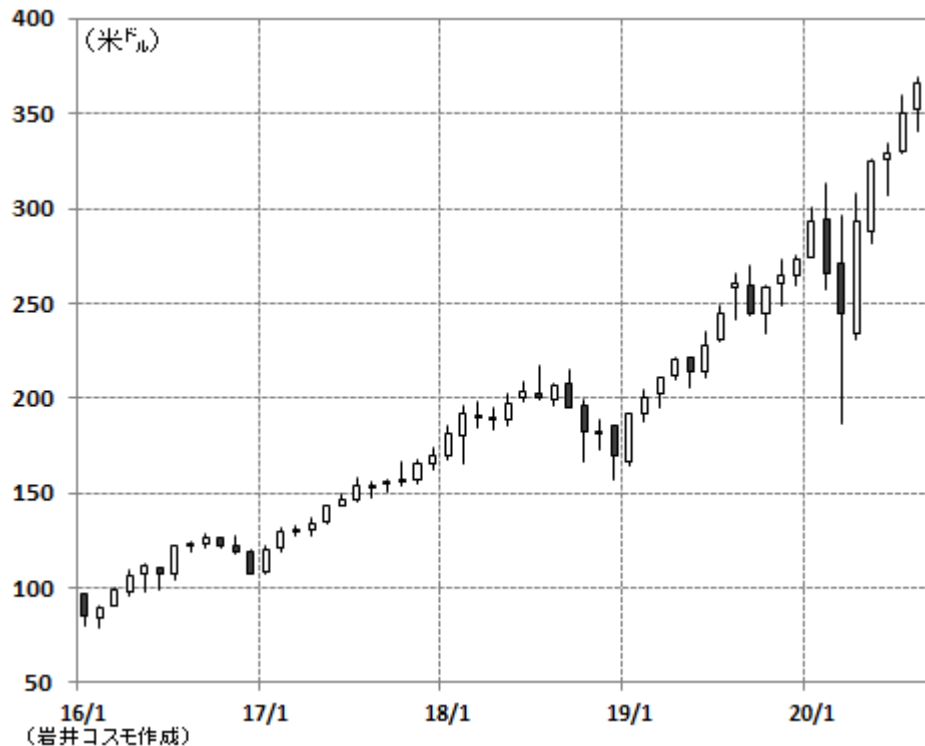
金融情報サービス大手。高収益の債券格付け業務や株式指数管理サービスを提供

会社概要

金融情報サービス大手。世界的な格付け会社「スタンダード・amp・プアーズ・レーティング」等を経営。祖業は出版社「マクロウヒル」。1966年に金融情報のデータ分析サービスを手掛ける「スタンダード・amp・プアーズ」を買収。現在は、出版事業は切り離され、4つの部門（格付け、企業財務情報、指数提供、商品価格提供）からなる、情報サービス企業となっている。本社はニューヨーク、社員数は約23,000名（20年3月末時点）。

注目ポイント

- **安定した顧客基盤・高収益・排他的な競争環境**：収益の約半分を占める債券の信用力を評価する「格付け業務」部門やNYダウ工業株平均やS&P500等の主要指数の管理を行う「指数提供業務」等、いずれの事業も参入障壁が高く、営業利益率は高水準。同銘柄は46年の連続増配実績を持ち、S&P500配当貴族指数に属す。
- **「ESG関連」事業を強化、恩恵享受**：「ESG投資」が世界的に注目がされる中、関連事業を強化。格付け業務では環境分野への取り組みに特化した債券「グリーンボンド」の格付けや、発行体のESG項目の評価サービスを提供する。ほか企業情報サービス業務ではESGやSDGs(持続可能な開発目標)の点数化業務など広範囲に従事。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	352.85 (09/25)
52週高値(日付)	379.8 (20/09/02)
52週安値(日付)	186.44 (20/03/18)
時価総額	850億ドル 8兆9,782億円
株価変化率(%)	47.2 (過去6ヶ月間) 43.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	32.9 (倍)
株価売上高比率	12.0 (倍)
PBR	404.9 (倍)
税前配当利回り(%)	0.76 (直近年率)
配当成長率(%)	16.7 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	717.2 (%)
株式ベータ	1.03 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2018/12	6,258	3	2,790	8	1,958	31	7.73	2.00
2019/12	6,699	7	3,226	16	2,123	8	8.60	2.28

四半期業績

四半期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2019/Q2	1,704	—	813	—	555	—	2.24	0.57
2020/Q2	1,943	14	1,105	36	792	43	3.28	0.67

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

ネクステラ・エナジー(NEE)

上場市場

ニューヨーク

セクター

公益(電力・ガス)

風力などの環境配慮型の発電に特化する電力会社

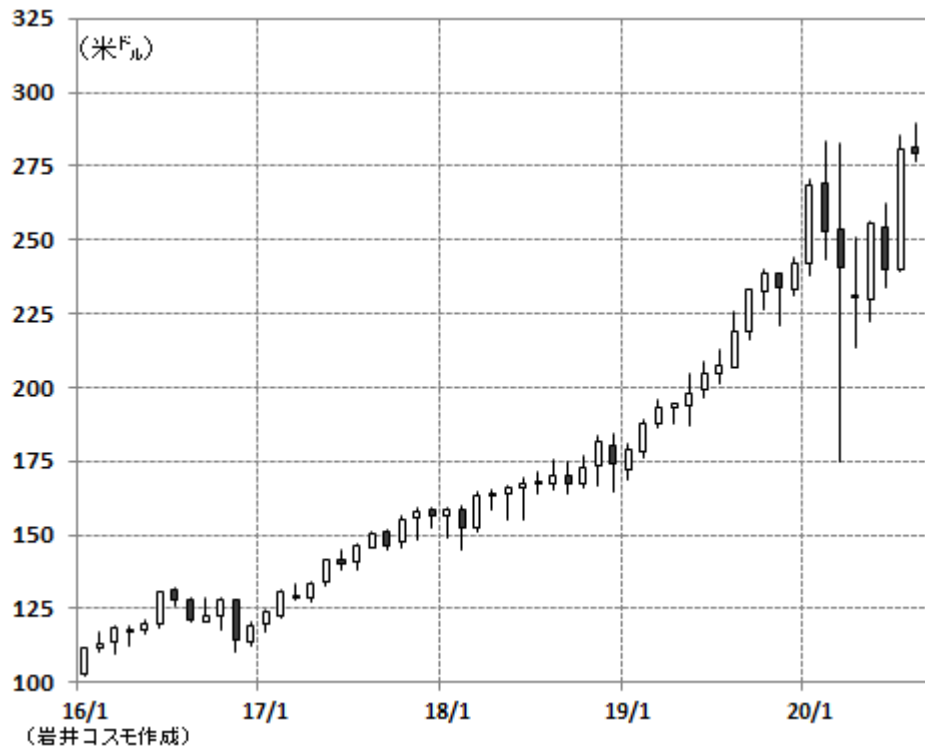
会社概要

再生可能エネルギー等の発電・販売を手掛ける持株会社。風力、太陽光、液化天然ガスによる環境負荷の小さい発電所を中心に運営し、子会社を通じて複数の原子力発電所も保有する。持株会社は主に、フロリダパワー&ライト(FPL)とネクステラ・エナジー・リソースズ(NEER)から構成される。持株会社のルーツであるFPLは1925年創業、1950年にNY市場に上場。2010年に持株会社「ネクステラ・エナジー」を設立。

注目ポイント

□**環境配慮型発電に特化**：売上高のおよそ3割を占めるNEERはより環境配慮型の発電に注力している。NEERの発電量の64%が風力発電、11%が太陽光発電と全発電量の4分の3が再生可能エネルギーに占められている。風力や太陽光発電の発電コストは年々低下してきており、経済合理性の観点からも注目を集めている。

□**ESG投資でも注目**：近年、環境配慮や企業統治の優れた企業に投資する「ESG投資」が活発化しており、これらの対応が重要視される。同社はS&PのESG評価でも、セクター最高の評価を受けるなど、機関投資家の評価も高く、今後も環境に配慮した取組みを続ける。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	281.82 (09/25)
52週高値(日付)	299.27 (20/09/15)
52週安値(日付)	174.82 (20/03/23)
時価総額	1,380億ドル 14兆5,693億円
株価変化率(%)	21.5 (過去6ヶ月間) 21.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	32.5 (倍)
株価売上高比率	7.2 (倍)
PBR	3.7 (倍)
税前提当利回り(%)	1.99 (直近年率)
配当成長率(%)	12.1 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	9.9 (%)
株式ベータ	0.90 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2018/12	16,727	—	4,280	—	6,638	—	13.88	4.44
2019/12	19,204	15	5,353	25	3,769	-43	7.76	5.00

四半期業績

2019/Q2	4,970	—	1,747	—	1,234	—	2.56	1.25
2020/Q2	4,204	-15	1,186	-32	1,275	3	2.59	1.40

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

株式投資に関するご留意事項

◆手数料等について

■国内株式

- 国内株式の売買には、約定代金に対して最大1.265%（税込）の委託手数料が必要となります。
※委託手数料が2,750円に満たない場合は2,750円

■外国株式

- 国内取次手数料

約定代金が5.0万円以下の場合	約定代金の16.5%（税込）
約定代金が5.0万円超50万円以下の場合	8,250円（税込）
約定代金が50万円超の場合	最大で約定代金の1.1% + 2,750円（税込）

- 現地諸費用：外国取引にかかる現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書上でその金額等をあらかじめ記載することはできません。
- 「外国証券取引口座」を開設されていない場合は、口座開設が必要となります。

■新規公開株式

- 新規公開株式を購入される場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

◆主なリスクについて

株価変動リスク	政治・経済、社会情勢等の変化により、株式相場等が変動し損失を被るおそれがあります。
新規公開株式にかかるリスク	新規公開株式は、国内外の事業会社が発行する株式であり、金融商品取引所への上場後は、株式相場の変動や当該事業会社等の信用状況に対応して価格が変動すること等により、損失が生じるおそれがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者の信用・財務状況などの変化等により、価格等が下落したり、投資元本を回収できなくなったりすることで、損失を被るおそれがあります。
流動性リスク	流動性の悪化または流通市場の混乱により、損失を被るおそれがあります。
為替変動リスク	外国為替相場の変動等により、受取金額が増減し損失を被るおそれがあります。

※信用取引を行う場合は、委託保証金を担保として差し入れていただきます。委託保証金は、売買代金の30%以上で、かつ100万円以上が必要です。
また、信用取引を行う場合は、対象となる株式等または指標等の価格変動により損失の額がお客様の差し入れた委託保証金の額を上回るおそれ（元本超過損リスク）があります。

当社が取扱う商品等は、上記リスク等により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品の契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等をお読みください。

本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。